

## CHAPTER 3

# 基本方針

## 1. 基本方針

1

## 基本方針

以下のとおり3つの基本方針を掲げ「人とまちが元気に輝き続ける -Sports City SENDAI-」の実現に向けて取り組んでいきます。

なお、本計画に基づき展開する各施策は、SDGsの考え方を意識して進めます。

### 基本方針 1



アクティブ  
ライフスタイルの推進



スポーツで一人ひとりが  
“元気になる”

### 基本方針 2



地域コミュニティ  
活性化につながる  
スポーツ機会の充実



スポーツで人や地域と  
“つながる”

### 基本方針 3



スポーツを核とした  
にぎわいの創出



スポーツで仙台に人が  
“集う”

スポーツでひろがる

### アクティブライフスタイル

本市では、健康づくりや美容等を目的として、日常生活の中で意識的・継続的に体を動かすことが習慣化された生活様式を「アクティブライフスタイル」として積極的に推進します。例えば、WHOは、「運動はどのような形でもよく、仕事や移動の最中、レジャー活動や遊びの中、さらにはガーデニングや掃除といった日常生活の中でも実施可能である」としています。通勤や買い物の手段を自家用車から自転車に変える、犬の散歩がてらジョギングを行う、電車やバスを一駅手前で降りて歩く、エレベーターをやめて階段を使用する等、意識的かつアクティブに体を動かしましょう！



## SDGsを意識した施策の推進

SDGsとは、平成27(2015)年9月に国連サミットで採択された2030年までの持続可能な開発目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。

また、同アジェンダにおいて、「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。」と述べられており、本計画においても「スポーツの力」を意識しながら、SDGsの主旨を踏まえ、持続可能な未来へ向けて、各施策の推進に取り組んでいきます。次ページ以降では、各基本方針に関連する主なゴールを示しています。



SDGs アイコン  
(出典：国際連合)

## 基本方針 1



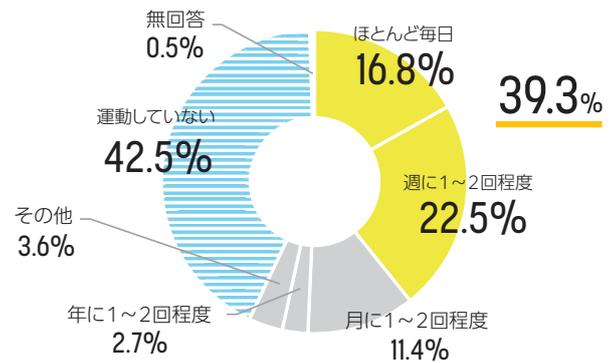
## アクティブライフスタイルの推進

## スポーツで一人ひとりが“元気になる”

スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形で楽しみ、喜びを得ることは、心身の健康増進や生きがいに満ちた豊かな生活の実現につながります。市民一人ひとりが自分に合った形で意識的に体を動かすアクティブライフスタイルの推進により、毎日の生活がより楽しく充実したものになるよう、それぞれのライフスタイル、スポーツへの関心や取組みの度合いに応じた施策を展開します。

現在、本市においては、スポーツを「する人」と「しない人」の二極化が顕著です。スポーツをしない主な理由として「時間がないから」や「機会がないから」等が挙げられていることから、ライフスタイルやスポーツへの関心、取組みの度合いに応じてスポーツに親しめるよう、誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しむことのできる環境づくりを進めます。特に、生涯にわたるアクティブライフスタイルの基礎づくりとしての子どものスポーツ推進や、高齢者や障害者が無理なく自分のペースで楽しめるスポーツ環境の充実を図ります。

運動やスポーツを行う市民の割合



出典：令和2年度仙台市スポーツに関する意識調査



## 基本方針 2



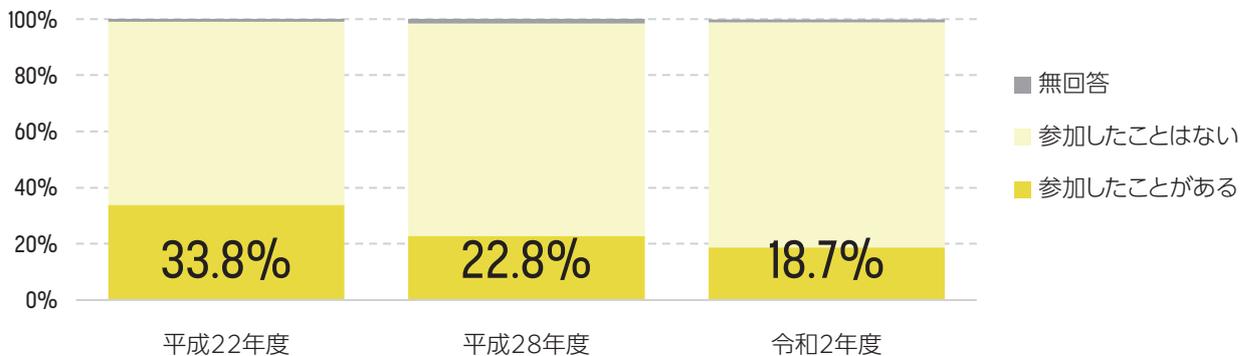
# 地域コミュニティ活性化につながる スポーツ機会の充実

## スポーツで人や地域と “つながる”

スポーツは、様々な立場や状況の人々が楽しみや喜びを分かち合い感動を共有するなど、ともに活動し、つながりを感じながら楽しめるものです。スポーツの力による新たな交流の創出や、ともに支え合う地域社会の実現に向け、身近なところで気軽に参加しやすいスポーツ機会の充実を図る等、スポーツを通じた地域内交流やコミュニティの活性化を目指します。

現在、本市においては、地域のスポーツ行事に参加する市民の割合が減少傾向にあります。行事に参加しない主な理由として、「知らなかったから」や「地域交流があまりないから」等が挙げられていることから、地域スポーツ活動への参加につながるきっかけをつくり、さらに継続して参加してもらえるよう、多様な主体と連携を図りながら、身近なところで気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

市や地域のスポーツ団体等が主催するスポーツ行事に参加する市民の割合



出典：令和2年度仙台市スポーツに関する意識調査



## 基本方針 3



## スポーツを核としたにぎわいの創出

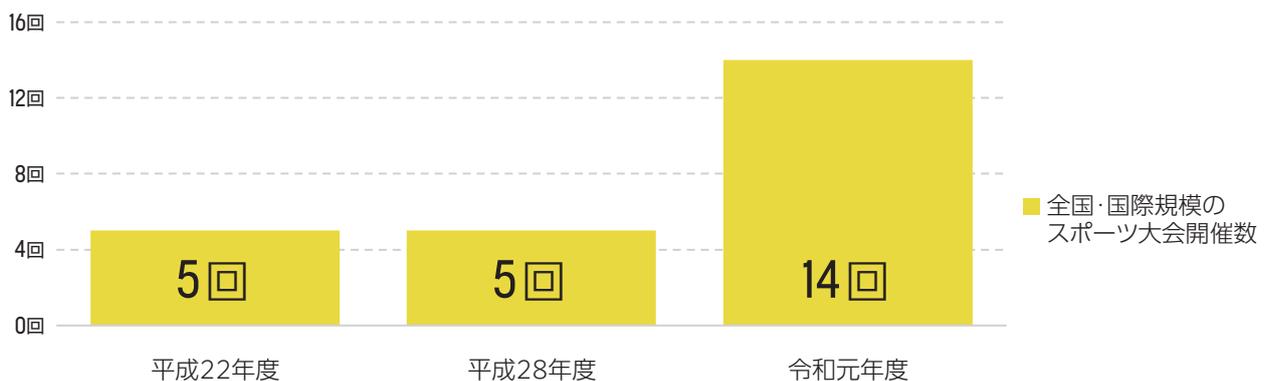
## スポーツで仙台に人が“集う”

プロスポーツやトップアスリートのパフォーマンス、大規模なスポーツイベントは、感動や興奮、熱狂を生み出すなど、多くの人々を惹きつける魅力的なコンテンツであり、人とまちに大きな希望や勇気、元気をもたらします。本市ならではの多様な資源を効果的に活用した大規模スポーツ大会等の誘致・開催や、スポーツツーリズムの推進など、スポーツを通じて本市のブランド力をさらに高めることで、交流人口の拡大や、まちの賑わい創出を目指します。

近年、本市における全国・国際規模のスポーツ大会開催数は増加しています\*。増加が堅調な要因として、平成26(2014)年に設立した「スポーツコミッションせんだい」による積極的な誘致活動が実を結んでいることが挙げられます。

今後も、大規模なスポーツイベントの開催・誘致の取組みを積極的に進めるとともに、本市のさらなる賑わいや経済効果の創出へと結びつけるために、スポーツに本市の多彩な資源を掛け合わせたスポーツツーリズムを推進します。

全国・国際規模のスポーツ大会開催数



\* 新型コロナウイルス感染症拡大前までの推移